

デジタル人材育成の取組み紹介

2月26日(金) アマゾン ウェブ サービス ジャパンによる「将来のデジタルスキルニーズに関する記者説明」が行われ、弊社のデジタル人材育成の取組みを紹介いたしました。

◆取組み概要

一つ目のポイントは、「成長サイクルを回す仕組みを作る」ことです。この成長サイクルを回し続ける秘訣は、最初にコアメンバを作り、そのコアメンバが中心となりリアル体験を交えたトレーニングの内製化を行うこと。できるだけ早く学んだことを活かせる場をマネジメントは提供すること。個々人の経験をシェアし、みんなの経験にすること。そして、これらを継続的な活動にしていくことです。



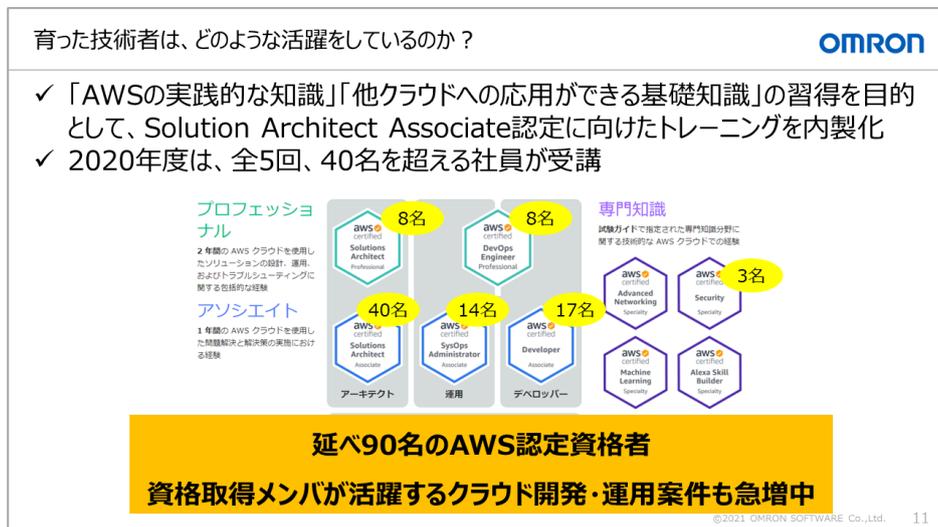
二つ目のポイントは、「マネジメントと技術者が同じ方向を向き一体となって進める」ことです。ソフトウェア開発で一番大切なのは人です。会社は技術者の成長を第一に考え成長の機会を提供する。技術者は、能力をいかに発揮して社会課題の解決を行う。その結果、よりよい社会の実現に貢献し、社会から評価いただけ、新たな活躍・成長の場の獲得に繋がる。この三方良しのサイクルを実現するためには、技術者、マネジメント、技術者とマネジメントを繋ぐ全社推進チームが一体となって活動することが大切です。



◆トレーニング内製化

成長サイクルを加速するための取り組みの一つとして、トレーニングを内製化し、自分たちで技術者を育成しています。トレーニング内製化の一番のメリットは、自分たちの成功・失敗の経験を生々しく伝えることができることです。2020年度は、コロナ禍ということもありオンラインで全5回、40名を超える社員が受講しました。

その結果、Solution Architect Associateが合計40名誕生し、そのうち8名が5冠（アソシエイトとプロフェッショナルのすべての資格を獲得）人財となっています。現在、弊社のAWS資格取得者数は延べ90名を超えました。



◆取り組み詳細

以下のリンクより資料をダウンロードしてご覧ください。

[「よりよい社会実現にむけたデジタル人財育成サイクルの構築」](#)

* 記者会見の内容は各メディアにも取り上げられております。

一例 <https://news.mynavi.jp/article/20210301-1761072/2>

https://gihyo.jp/lifestyle/serial/01/it_cutting_edge/0020?page=1

* 関連記事：AWSサイトに 弊社AWSトレーニング活用事例が掲載！

<https://aws.amazon.com/jp/training/case-studies/osk-training/>

以上